

語ろう市民の思いを! ワークショップ

～大和郡山市をワクワク10万人都市にするために～



大和郡山市民の皆さん、今の生活に満足していますか、大和郡山は住みやすいですか!?

答えは残念ながら「NO!」です。市内に近鉄、JR合わせて7つも駅があり西名阪自動車道や京奈和自動車道が整備されている中、人口は23年も前から減少し続けています。その原因は何か、どうすれば市民の皆さんが生き生きと豊かにこの大和郡山の地で過ごしていけるか、さあ私、北門勇氣とともに市民の皆さんのホンネを聴き、解決策を探る旅に出かけましょう。



きた もん ゆう き

北門 勇氣

PROFILE

■生年月日 昭和55年12月13日(38歳)
 ■市議会経歴
 平成23年4月 大和郡山市議会 初当選
 平成27年5月～平成29年5月 大和郡山市議会 副議長
 平成29年6月 大和郡山市長選挙 出馬
 ■所属団体
 大和郡山市PTA連合協議会 副会長
 大和郡山市人権教育推進協議会 副会長
 ボーイスカウト郡山1団 育成会 副会長

コミュニティバスの路線増加



城ヶ丘自治会の役員の皆さんから切実な要望を聴く北門勇氣
 =令和元年6月27日、城ヶ丘自治会館で

今回は市北西部に位置する城ヶ丘自治会(稲田雅樹会長、331所帯)を訪問、自治会館で稲田会長ら11人の役員の皆さんと懇談、「地域の日常的な足となるコミュニティバスをぜひとも開通してほしい」との強い要望をお聞きしました。

役員の皆さんの話によると、現在、一番近い奈良交通のバス停まで城ヶ丘地区から遠い所で歩いて20分以上もかかるという。このため自治会に特別委員会を作り、10年以上前から住民の足を確保しようと、市や奈良交通に要望活動をしているが、門前払い。

近隣自治会とも連携し、お願いしたが駄目だったという。地区内でも高齢化が進み、自家用車の運転や歩くのも困難な住民が増え、交通が不便なため、地価も下がる一方。一番近くのバス停まで行くためのコミュニティバス運行も要望しているが、聞き入れてもらえない現状だ。

「40年ほど前に奈良交通からバスの乗り入れの話がありましたが、当時は治安の問題で断った経緯があるものの、地区内の状況は大きく変わり、公共交通の確保は日常生活に欠かせない」「地価の決定はバス停から徒歩何分かで決まる。バスが入ってこないと言資産価値も下がり、子どもたちも戻ってこない」「コミュニティバスの誘致は、自治会最優先の課題、何としても実現してほしい」と役員の皆さん。

積極行政に転換を！ 民間企業感覚で財源ねん出

市内のコミュニティーバスは現在、平和地区、治道地区、旧郡山地区の3路線。矢田や片桐、九条地域の住民の皆さんも不便な思いをしてるのではないのでしょうか。最低でも市民の日々の生活の足を確保しようと思えば5路線は必要でしょう。

ただ、1路線の年間維持費は約1,500万円から2,000万円。これを実現しようと思えば年間1億円をねん出しなければなりません。これからの行政は市民からいただく税金の範囲で政策を推し進めていては何一つ市民のための政策を実現することはできません。そこで民間企業感覚で財源を創出する積極行政を提案します。



たとえば大和中央道や国道24号線沿いへの商業施設誘致です。そのための環境整備をすることです。以前、奈良県が治道地区など24号線周辺の開発を行おうとしましたが、大和郡山市の協力がほとんどなく、未だに何の発展もありません。まさに時代に逆行した政治で市民に不便を強いているのが今の市行政です。努力して得た税収で市民に必要なサービスを行う。今こそ市政を改新して「どこでも住める大和郡山市」を目指します。

活動報告



駅前演説



ゲートボール大会



第2回 市PTAフェスティバル



映画やどりのPR

大和郡山の未来をひらく会からのお知らせ ボランティア募集

月1回の子ども食堂

お手伝いいただくにあたって

食堂開催日には調理スタッフだけでなく、席のご案内やお皿洗い、食事の前後にこどもたちの遊び相手になってくれるスタッフがいるとたいへん助かります。



お手伝いいただける方は、お近くのスタッフが必要な食堂にぜひお声をかけてください。



場所：西田中町ふれあいセンター

お問い合わせ：y.miraiwohirakukai@gmail.com

きたもん勇気後援会

<https://ymiraiwohirakukai.wixsite.com/mysite>

大和郡山市横田町47-2

会長 米山 定男